

平成 24 年度

事業報告

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

一般財団法人 開陽丸青少年センター

I 事業の状況

1. 海と船の青少年育成活動

当館は、開陽丸の持つ歴史性を活かし、一般及び特に青少年に海事知識や歴史についての啓発を行い、青少年の海洋への興味、関心や歴史の持つ夢や冒険心を高めることに寄与することを目的に展示、体験事業等を実施してきた。

(1) 海の駅オープン記念イベント等の実施

本年度は管理棟を改装し、軽食・休憩コーナーを併設した「えさし海の駅開陽丸」として4月14日にリニューアルオープンとなった。

これを記念し、同月14日、15日にイベントと記念館の無料入館を実施した。両日の入館者数は1,207人を数えた。

併せて5月3日に音楽ステージやぷらっとえさしの特売などを実施し、町の協力を得ながらマリーナ公園（開陽丸広場）での魚釣り（鑑賞池）などの開放事業が行われた。

(2) 開陽丸記念館青少年研修事業

① 入館者へのガイド解説

② 記念館入館青少年等への啓発研修

「開陽丸クイズ」（GW、夏休み期間） 対象：小学4年生から中学生
目的：小中学生が開陽丸資料を楽しみながら理解、学習すること。

収入（@100×231人） 参加景品：開陽丸オリジナルバッチ（前年度171人）

③ 町内小中学校生への郷土学習提供139名（引率16を除く）参加（前年度62名）

(3) 修学・研修旅行用事前学習資料の配布

訪問校への事前学習資料「蘇った幕末の軍艦 開陽丸」DVDの配布

(4) マリーナ利活用事業

マリーナを活用した青少年の健全育成を図るためのレクリエーション事業、海洋の自然等を生かした事業の実施（町直営後掲）

① マリーナ鑑賞池の管理（指定管理事業）

② マリーナ徒渉池・ジャングルジム・芝生の管理（指定管理事業）

③ ヨット競技大会

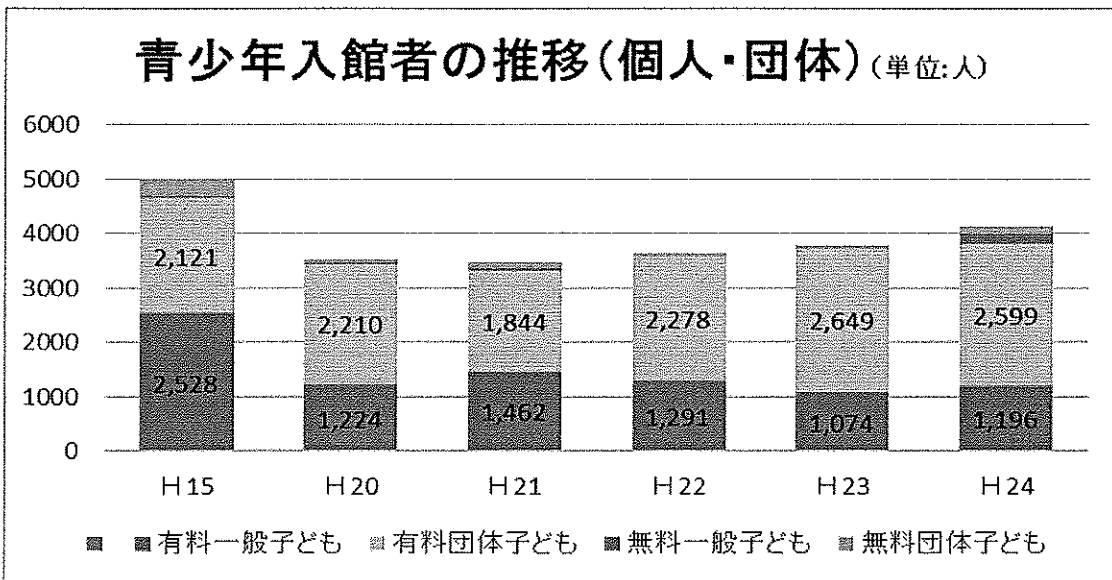
(5) その他

入館料の改定により子ども料金が「300円」から「250円」と16.7%割引きとなったこと、ホームページ、各種媒体を通じたPR、各種クレジットカード割引などを実施した結果、青少年有料入館者数は3,795人、対前年度比較72人、1.9%の増加（個人1,196人、団体2,599人）。青少年無料入館者数は342人、対前年度比較280人、約4.5倍の増加（個人208人、団体134人）となり、合計青少年入館者数は、4,137人、対前年度比較354人、9.4%の増加（個人1,404人、団

体 2,733 人) となった。無料は海の駅オープン記念や町内小中学校等の入館である。

青少年入館者数の推移

区分	H15	H20	H21	H22	H23	H24	10年前との比較		5年前との比較		前年度比較	
							増減	伸張率	増減	伸張率	増減	伸張率
入館者数	30,004	18,351	18,105	19,370	16,219	19,775	▲ 10,229	▲ 34.1	1,424	7.8	3,556	21.9
有料一般子ども	2,528	1,224	1,462	1,291	1,074	1,196	▲ 1,332	▲ 52.7	▲ 28	▲ 2.3	122	11.4
有料団体子ども	2,121	2,210	1,844	2,278	2,649	2,599	478	22.5	389	17.6	▲ 50	▲ 1.9
有料計	4,649	3,434	3,306	3,569	3,723	3,795	▲ 854	▲ 18.4	361	10.5	72	1.9
無料一般子ども	22	9	48	8	0	208	186	845.5	199	2211.1	208	#DIV/0!
無料団体子ども	315	71	125	54	62	134	▲ 181	▲ 57.5	63	88.7	72	116.1
無料計	337	80	173	62	62	342	5	1.5	262	327.5	280	451.6
青少年計	4,986	3,514	3,479	3,631	3,785	4,137	▲ 849	▲ 17.0	623	17.7	352	9.3



2. 開陽丸青少年センターの管理運営

当センターは、「開陽丸青少年センターの設置及び管理に関する規程」に基づき、(1) 地域交流施設「えさし海の駅開陽丸」、(2) 資料展示施設「開陽丸記念館」の管理運営を実施している。

(1) 地域交流施設「えさし海の駅開陽丸」の利用状況

「えさし海の駅開陽丸」は、平成 23 年 1 月～3 月の間に改修工事を実施した。改修に先立ち、「開陽丸周辺環境整備検討委員会」において平成 22 年 11 月 9 日から平成 24 年 4 月 27 日まで計 8 回の検討が加えられ完成したものである。

この施設の利用状況は売店レジ取扱い件数より3万9千人と推計した。

また、属性－居住地別では管理棟の改修前には町民来訪者が1組であったものが、改修後では11組（全体の14%）と増加し、記念館入館者は約半数であり、「売店」のみの利用を目的とした人が半数である。

属性－人数別では、改修前同様、約半数は2人組で訪れている。夫婦、カップル、親子、友人など様々な組み合わせが見られ、3人以上の組には家族づれが多く、中には3世代で訪れる姿も見られた。単身での来訪者が改修前よりも約7%増加している。

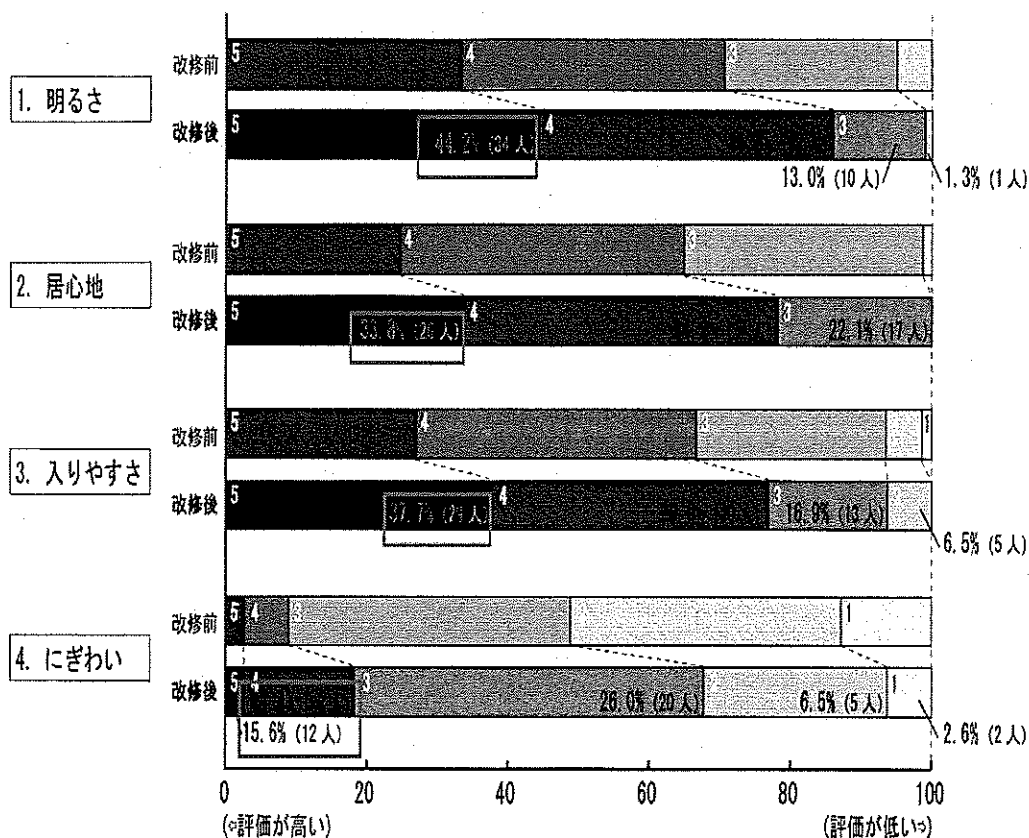
単身	14組	18.2%
2人	37組	48.1%
3人	5組	6.5%
4人	10組	13.0%
5人以上	8組	10.4%
不明	3組	3.8%
計	77組	100.0%

属性－性別では、女性より男性の方が多かった。これは、男性ばかりの大人の団体が数組見られたもので、実際には、改修前同様、夫婦やカップル、女性同士の姿もよく見られている。

男性	127人	52.7%
女性	78人	32.4%
不明	36人	14.9%
計	241人	100.0%

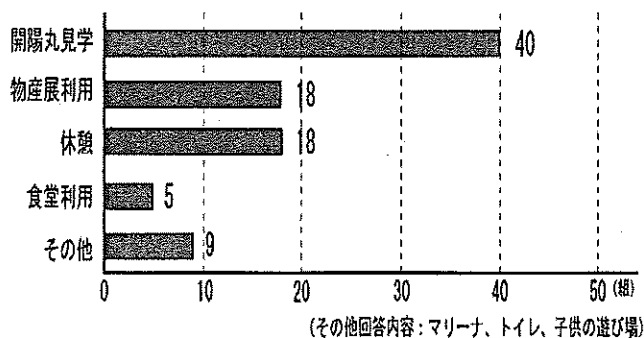
<参考> 建物評価

開陽丸青少年センターについて、以下の4項目について5段階評価を行った（高得点のほうが評価が高い）。「1.明るさ」「2.居心地」「3.入りやすさ」の3項目については改修前調査同様、全体的に見て評価が高く、最高点をつける人もそれぞれ1/3以上いた。「1.明るさ」の項目に限れば、半数に近い割合で最高点がついた。一方で「4.にぎわい」については評価があまり高いとはいえない。また、改修前調査にくらべて全ての評価項目の評価があがった。



施設利用目的・・・物産店利用・休憩・食堂利用は全体の53%

施設利用目的は77組中40組が開陽丸見学と答えた。その次に物産館利用・休憩が多く、食堂利用がもっとも少なかった。今後、行動調査の情報も加えて、改修前後の開陽丸青少年センター内の利用実態の変化を明らかにしていく。



(2) 資料展示施設「開陽丸記念館」の利用状況

①利用状況

開陽丸記念館の入館者数は、19,775人、対前年度比較3,556人、21.9%の増加（個人1,196人、団体2,599人）となった。以下の表を参照。なお、「無料計」の増加は、4月14日、15日両日の海の駅オープン無料入館（大人1,014人、子ども193人、合計1,207人）が主なものである。

区分	H15	H20	H21	H22	H23	H24	10年前との比較		5年前との比較		前年度比較	
							増減	伸張率	増減	伸張率	増減	伸張率
入館者数	30,004	18,351	18,105	19,370	16,219	19,775	▲10,229	▲34.1	1,424	7.8	3,556	21.9
有料一般大人	19,362	11,146	11,955	11,783	9,906	11,417	▲7,945	▲41.0	271	2.4	1,511	15.3
有料一般子ども	2,528	1,224	1,462	1,291	1,074	1,196	▲1,332	▲52.7	▲28	▲2.3	122	11.4
有料団体大人	3,698	3,134	2,120	3,482	2,200	2,842	▲856	▲23.1	▲292	▲9.3	642	29.2
有料団体子ども	2,121	2,210	1,844	2,278	2,649	2,599	478	22.5	389	17.6	▲50	▲1.9
有料計	27,709	17,714	17,381	18,834	15,829	18,054	▲9,655	▲34.8	340	1.9	2,225	14.1
無料一般大人	1,718	297	357	163	88	1,163	▲555	▲32.3	866	291.6	1,075	1221.6
無料一般子ども	22	9	48	8	0	208	186	845.5	199	2211.1	208	#DIV/0!
無料団体大人	242	260	194	311	240	216	▲26	▲10.7	▲44	▲16.9	▲24	▲10.0
無料団体子ども	315	71	125	54	62	134	▲181	▲57.5	63	88.7	72	116.1
無料計	2,297	637	724	536	390	1,721	▲576	▲25.1	1,084	170.2	1,331	341.3

次に、増加要因については、道調査の来道観光客数、日銀函館支店調査「道南地方の金融経済動向」の函館市内の主要施設の観光動向は、下表のとおりであり前年を平均で10.5%増加している。要因は一般に前年の震災の影響からの「反動」という受け止め方が強いようである。

主要統計調査伸長率(1月～12月)単位:%

区分		2012(H24)	2011(H23)	2010(H22)
北海道調査	施設利用客数	21.1	▲11.5	1.1
	主要ホテル	9.0	▲2.8	2.4
	函館空港	7.5	▲9.7	1.7
	ロープウェイ	17.6	▲13.2	2.7
日銀函館支店	五稜郭タワー	8.2	▲13.1	0.5
	開陽丸青少年センター	15.5	▲13.5	7.5

対前年同月比の比較

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
H24開陽丸	▲97.1	▲75.0	▲63.1	204.1	6.7	▲4.0	12.8	2.9	7.1	38.3	58.7	▲14.1	15.5
H23開陽丸	▲45.6	▲94.1	▲38.0	5.8	▲4.8	11.5	▲14.9	▲13.6	▲8.1	▲39.1	▲32.2	▲36.3	▲13.5
H22開陽丸	82.1	▲0.4	▲43.7	▲30.6	1.4	22.9	21.6	48.2	8.4	▲28.2	4.0	10.9	7.5
H24五稜郭物-	▲20.4	▲29.5	52.2	58.3	14.3	29.1	8.4	4.7	1.8	5.3	10.4	▲10.1	8.8
H24来道客数	▲2.4	▲2.9	35.1	33.4	22.8	19.4	5.1	6.9	2.9	5.5	8.7	5.8	10.1

②利用者の特徴

有料利用者の増減内訳では、「一般大人」が1,511人増（対前年比15.3%）、「団体大人」642人増（対前年比29.2%）、「一般子ども」122人増（対前年比11.4%）、「団体子ども」は50人減（対前年比▲1.9%）の順位となっている。

③利用者の推移と変化

<有料入館者の推移>

有料入館者の推移では、10年前の平成15年度を100とした場合、前年度の震災の影響年を除き平成20年度以降平均63%でほぼ横ばいの傾向にあるが、平成15年度からの変化では、平成16年の旭山動物園の急伸以降、道東、道南観光が減少し、平成20年にはリーマンショックやガソリンの高騰も加わり、更に当館は平成16年の台風被害も重なり、入館者の落ち込みは平成16年以降継続している。

有料個人計では、この5年間の推移では変化が少ない。有料団体は、大人の団体旅行は平成16年以降、長期に減少しつつある。

一方、子どもの団体は、昨年の震災の影響から道央圏の中学校の修学旅行が東北地方から道南圏へコースを変更したこともあり増加したが、24年度は道央圏の中学校の入れ替えもあるが前年度並みを維持することができた。

有料入館者数内訳別推移

単位:人%

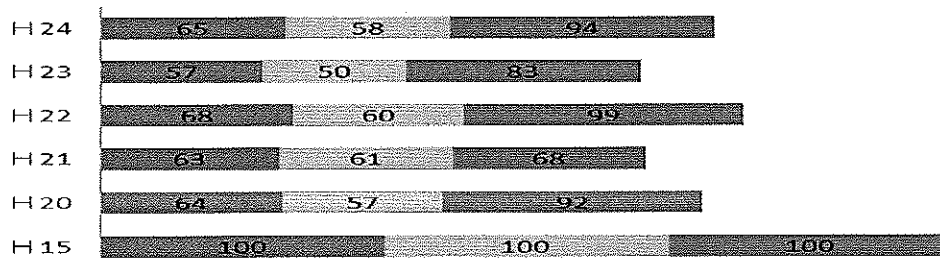
区分	H15	H20	H21	H22	H23	H24	10年前との比較		5年前との比較		前年度比較	
							増減	伸張率	増減	伸張率	増減	伸張率
有料入館者数	27,709	17,714	17,381	18,834	15,829	18,054	▲ 9,655	▲ 34.8	340	1.9	2,225	14.1
有料一般大人	19,362	11,146	11,955	11,783	9,906	11,417	▲ 7,945	▲ 41.0	271	2.4	1,511	15.3
有料一般子ども	2,528	1,224	1,462	1,291	1,074	1,196	▲ 1,332	▲ 52.7	▲ 28	▲ 2.3	122	11.4
有料個人計	21,890	12,370	13,417	13,074	10,980	12,613	▲ 9,277	▲ 42.4	243	2.0	1,633	14.9
有料団体大人	3,698	3,134	2,120	3,482	2,200	2,842	▲ 856	▲ 23.1	▲ 292	▲ 9.3	642	29.2
有料団体子ども	2,121	2,210	1,844	2,278	2,649	2,599	478	22.5	389	17.6	▲ 50	▲ 1.9
有料団体計	5,819	5,344	3,964	5,760	4,849	5,441	▲ 378	▲ 6.5	97	1.8	592	12.2

H15=100とした場合の有料入館者推移

区分	H15	H20	H21	H22	H23	H24
有料入館者数	100	64	63	68	57	65
有料一般大人	100	58	62	61	51	59
有料一般子ども	100	48	58	51	42	47
有料個人計	100	57	61	60	50	58
有料団体大人	100	85	57	94	59	77
有料団体子ども	100	104	87	107	125	123
有料団体計	100	92	68	99	83	94

有料入館者内訳の推移(個人・団体)H15=100%

■ 有料入館者数 ■ 有料個人計 ■ 有料団体計



④利用者の入館要因等

北大建築計画学研究室が行った調査による来館者の属性-居住地別では、道内 が 76.6%、道外 20.8%となっている。また、「開陽丸への入館」については、えさし海の駅開陽丸を訪れた約半数しか実際には入館していない。

改修前の調査では、「入館したかったが時間が足りない」、「もう何度も来ているから」との理由であったが、食堂、物産館のみの利用を目的で訪れている。

施設の認識要因では、「旅行雑誌、観光パンフレットを見て知った」が 29.1%、

「テレビ・新聞」が15.2%、「通りすがりにたまたま見つけた」が10.1%、「町のHP」が5.0%、「開陽丸のHP」が2.5%となっている。

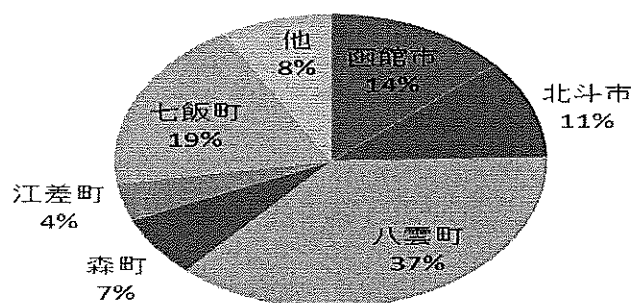
3. 江差港マリーナの指定管理業務

マリーナ業務は指定管理者として、町からの管理の代行を行い施設の維持及び管理、使用許可、その他付随する業務を行っている。

対前年度比較ではボート利用が8隻減、ジェットスキー4増となっている。年間契約が高齢化、転勤等により減少しつつある中で噴火湾沿岸の町からの一時利用、函館市内からのジェットスキー利用者等の増加が課題となっている。

区分	平成24年度					平成23年度					増減					
	5m未満	5m以上	計	町内	町外	5m未満	5m以上	計	町内	町外	5m未満	5m以上	計	町内	町外	
年間契約	ヨット	54	6	60	48	12	54	7	61	48	13	0	▲1	▲1	0	▲1
	ボート	4	77	81	44	37	5	78	83	45	38	▲1	▲1	▲2	▲1	▲1
	計	58	83	141	92	49	59	85	144	93	51	▲1	▲2	▲3	▲1	▲2
一時利用	ヨット	0	4	4	0	4	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2
	ボート	11	44	55	0	55	14	47	61	0	61	▲3	▲3	▲6	0	▲6
	ジェットスキー	18	0	18	1	17	14	0	14	4	10	4	0	4	▲3	7
	計	29	48	77	1	76	28	49	77	4	73	1	▲1	0	▲3	3
年間利用数	ヨット	54	10	64	48	16	54	9	63	48	15	0	1	1	0	1
	ボート	15	121	136	44	92	19	125	144	45	99	▲4	▲4	▲8	▲1	▲7
	ジェットスキー	18	0	18	1	17	14	0	14	4	10	4	0	4	▲3	7
	計	87	131	218	93	125	87	134	221	97	124	0	▲3	▲3	▲4	1

一時利用者の割合



4. みなとオアシス江差に関する事業の推進

平成22年6月に北海道内で3番目に国土交通省北海道局から「みなとオアシス」として認定・登録となり、国はその広報活動（シンボルマークの使用、国のHPへの等）を支援することにより、「みなと」の施設の利用を促進することし、当財団は、「北海道みなとオアシス活性化協議会」（北海道開発局防災対策本部室）に参加しながら意見交換等を行い地域の賑わいの創出に資する活動を行う。

当館を拠点とするオアシスエリア内における町くみなとオアシス江差運営協議会>をはじめ、各商店街組合等との連携づくりをすることが基本課題である。

◆みなとオアシスの活動状況

江差運営協議会	道みなとオアシス活性化協議会出席2回
売店休憩コーナー活動	ぷらっとえさしによる売店活動3万9千人。出店者会議の開催。
公衆トイレの設置管理	4月～10月
開陽丸広場の開放	水飲場シャワー設置、徒渉池、鑑賞池
PR活動	コーナーの設置、HP、イベント時PR
エリア動向	海の駅登録・管理棟改修・記念切手発売
連携地区における各団体イベント開催	オープン記念イベント、春秋いにしえ夢開道、江差朝市新鮮組、イカ刺しまつり、かもめ島まつり、全道北前船競漕大会、姥神大神宮渡御祭、産業まつり、江差追分大会、江差夜市、たば風の祭典、なべ祭り、北前のひな語り

◆みなとオアシス受託業務

町からの受託事業として緊急雇用創出推進事業による「開陽丸を中心とした周辺区域一体観光推進業務」を職員1名の配置により実施した。

<業務内容>

- みなとオアシス江差運営協議会に関すること
- 開陽丸管理棟における飲食・物販に関すること
- 開陽丸を中心としたイベントの開催
- 住民参加型まちづくりファンドの運営に関すること
- 江差港マリーナを活用したマリンスポーツの推進に関すること

5. 海と船に関する資料の収集及び展示

帆船と蒸気船の歴史、科学などを通じて海洋と人との関わりを啓発し興味、関心を深める。蒸気船に係る研究としては平成16年出版の「幕末の蒸気船物語」（元網数道著）以降、顕著な著作が見当たらないようである。

- ・開陽丸の見どころパネル作成

- ・開陽丸周辺懐古写真展（7月～8月）
- ・新発見～汽笛タンクと換水装置展～
- ・箱館戦争史跡マップ（町内）パネル
- ・えさし海の駅のオープンパネル
- ・みなとオアシス江差パネル
- ・江小4年生総合学習 「江差ふしぎ発見」

6. 開陽丸に関する調査研究

産業革命と日本、幕府海軍、幕末の蒸気船、明治維新、開陽丸の関係者などの歴史を調査し、新たな魅力の発見と分かり易い展示資料の開発等に資する。

・新刊書では、開陽丸に関する著作も多数出版されているが、「箱館戦争と榎本武揚」（樋口雄彦著）が旧幕臣たち（多数）の維新後の生き方を著した点では貴重である。

・開陽丸に乗船した人物関係では、これまでに乗組員として判明しているが、「岩橋教章」の事績（子孫は不明）と「三浦省（看）吾」の子孫・事績が開陽丸子孫の会誌第6号が明らかにしている。

・「渡邊清次郎回想録について」（日本旅客船協会機関誌-橋本進著 2012.5（前編）・2012.8 後編） 渡邊清次郎は塩飽諸島・本島泊浦で生まれ、慶応3年5月オランダから回航された開陽丸に乗船以来、江差沖で座礁するまで開陽丸に乗船し、座礁の際の記録を含めた「渡邊清次郎回想録」を著した。特に、江差沖座礁の際、開陽丸に乗船していた者の記録、乗船員名簿は貴重である。

・長崎鷹島周辺海底に眠る元寇関連遺跡・遺物調査と関連して、海底埋蔵物の判別のため、江差沖での開陽丸での探査データの取得を目的とする調査が実施され、木材と銅製品の判別には音波探査に使用する音源の周波数を複数用いて、その反応を比較することの有効性が確かめられた。（季刊「考古学」第123号（2013.5月）「日本とアジアの水中考古学」九州大学名誉教授西谷正）

（引用-池田榮史・根本謙次「北海道江差町開陽丸音波探査報告」琉球大学法文学部考古学研究室 2009）

2) 調査研究関係

①道南ブロック博物館施設等連絡協議会に加盟

- ・同会主催第1回アドベンチャーカレンダー テーマ「幕末維新・箱館戦争」

タイトル	所属	タイトル	所属
お城の大きさを比べてみる	厚沢部町郷土資料館	旧幕府軍兵士と鷺の木村の人々	森町教育委員会
新歴で見直す箱館戦争	市立博物館	同心たちの箱館戦争	七飯町歴史館

箱館戦争時江差の商人はどのような行動をとったのか	江差町郷土資料館	箱館奉行の威信	市立博物館
鷺の木の地をめぐる	森町教育委員会	大脱出	八雲町郷土資料館
「だっそう」考	厚沢部町郷土資料館	五稜郭×函館野外劇	知内町郷土資料館
北斗市に現存する幕末の火薬庫跡	北斗市教育委員会	箱館奉行所とクヌイ砂金山	今金町教育委員会
函館戦争と埋蔵金伝説	八雲町郷土資料館	脱走火車	市立博物館
用途の判明した開陽丸遺物	開陽丸青少年センター	馬について	北斗市郷土資料館
自然界にひそむ五稜郭	厚沢部町森林展示館	岩橋教章と「箱館戦争図絵」	市立博物館
箱館戦争と写真	道立美術館	幕末と函館ハリストス正教会	市北方民族資料館
土方はタンポポを見たか	市立博物館	ちょっと変わった開陽丸の話	江差町教育委員会
箱館戦争と化け猫伝説	知内町郷土資料館	一本木関門と異国橋	市立博物館

- ・第3回郷土学講座 平成25年3月9日 函館市立図書館
テーマ「箱館戦争-開陽丸と五稜郭の調査から」

②開陽丸図面の解析等

原図コピーからトレースしながら、寸法の測定、部位の特定などを解析しつつある。

7. その他業務

(1) 売店事業

(再掲)

来館者への便宜を図り、オリジナルグッズ等の販売に努めた。

(2) 開陽丸友の会との連携協力

- ・「開陽丸 21世紀」新聞のホームページ掲載
- ・GW等のボランティア案内等の参加
- ・開陽丸を語る会への出席
- ・研修旅行への参加

(3) 開陽丸子孫の会との連携協力

- ・会長榎本隆充氏、事務局の小杉伸一氏等の開陽丸ゆかりの子孫の方々 の

来訪

- ・開陽丸子孫の会による全国発信情報
- ・関係者にツアー
- ・幕府オランダ留学生派遣 150 年（多度津町立資料館）行事への資料協力

Ⅱ 庶務の概要

1. 基本財産

平成 25 年 3 月 31 日現在における基本財産は以下のとおりである。

科 目	前年度末	減少額	当年度末
基本財産			
構築物(開陽丸)	448,221,165	12,905,580	435,315,585
付属設備(展示)	67,126,083	2,338,636	64,787,447
基本財産計	515,347,248	15,244,216	500,103,032

2. 役員等に関する事項 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

(1) 理事

役 職	氏 名	任 期	備 考
理 事	濱 谷 一 治	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町長 理事長
理 事	打 越 東 亜 夫	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町議会議長 副理事長
理 事	飯 田 隆 一	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 商工会長
理 事	森 宏 樹	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 元町職員
理 事	新 木 秀 幸	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町教育委員会教育長
理 事	濱 野 瑠 恵 子	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 元館長
理 事	室 谷 元 男	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 歴まち商店街組合理事長
理 事	近 藤 偉 喜	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 西野会計事務所役員
理 事	萩 原 徹	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町議会議員
理 事	高 岡 広 明	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 町教育委員会教育委員
理 事	田 畑 昌 伸	平成 24 年 5 月 28 日～平成 26 年 5 月 27 日	再任 田畑建設(株)代表取締役
監 事	山 崎 鉄 平	平成 24 年 5 月 28 日～平成	再任

		26年5月27日	山崎自動車商会(有)社長
監事	田島千造	平成24年5月28日～平成26年5月27日	再任 観光コンベンション協会理事

(2) 評議員

役職	氏名	任期	備考
評議員	畑澤匡	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 商工会青年部
評議員	野澤道敏	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 商工会事務局長
評議員	横野晃一	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 檜山青年会議所
評議員	能登真弓	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 ひやま漁協江差支所婦人部
評議員	輪島絹子	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 開陽丸友の会副会長
評議員	長谷川篤	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 町副町長
評議員	葛西憲勝	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 檜山地域人材開発センター
評議員	田畑明	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 町政策推進課長
評議員	藤島一巳	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 前町教育委員会学芸員 道社会福祉協議会檜山地区事務所
評議員	小笠原敏文	平成22年10月1日～平成26年9月30日	新任 五勝手屋本舗(株)専務取締役

3. 職員に関する事項 (平成24年12月末現在)

氏名	就職年月日	担当事務
須藤公德	平成24年4月1日	館長
原田峰雄	平成2年4月1日	業務係(マリーナ)
垣原尚美	平成2年4月1日	業務係(会計・庶務)
中川栄子	平成2年4月1日	業務係(案内・研修)
柳田茂	平成24年4月1日	業務係(マリーナ)
谷口彰	平成23年6月10日	業務係(マリーナ)

鹿島由紀子	平成23年4月1日	業務係(売店)
磯田良子	平成15年4月1日	業務係(清掃)

4. 会議に関する事項

この年度における理事会及び評議員会の開催状況は、次のとおりである。

(1) 理事会

① 第1回 みなし決議による理事会

日時 平成24年4月2日

審議事項 定時評議員会の招集について

② 第2回理事会

ア. 日時 平成24年5月28日 午前10時～午前10時40分

イ. 場所 開陽丸青少年センター研修室

ウ. 審議事項

報告第1号 平成23年度事業報告の承認について

報告第2号 平成23年度決算報告の承認について

報告第3号 平成23年度監査報告の承認について

③ 第3回 みなし決議による理事会

日時 平成24年5月28日

審議事項 理事長及び副理事長の選任について

④ 第4回理事会

ア. 日時 平成24年10月25日 午前11時～午前11時50分

イ. 場所 開陽丸青少年センター研修室

ウ. 審議事項

報告第1号 平成24年度上期業務報告の承認について

議案第1号 冬期間の休館について

⑤ 第5回理事会

ア. 日時 平成25年3月26日 午前10時～午前11時30分

イ. 場所 開陽丸青少年センター研修室

ウ. 審議事項

議案第1号 売店(物販)事業の休止について

議案第2号 平成25年度事業計画について

議案第3号 平成25年度収支予算について

(2) 評議員会

① 定時評議員会

ア.日 時 平成 24 年 5 月 28 日 午前 10 時～午前 10 時 40 分

イ.場 所 開陽丸青少年センター研修室

ウ.審議事項

報告第 1 号 平成 23 年度事業報告について

報告第 2 号 平成 23 年度決算報告の承認について

報告第 3 号 平成 23 年度監査報告の承認について

議案第 1 号 理事及び監事の選任について

② 第 2 回評議員会

ア.日 時 平成 24 年 10 月 25 日 午後 2 時～午後 2 時 40 分

イ.場 所 開陽丸青少年センター研修室

ウ.審議事項

報告第 1 号 平成 24 年度上期業務報告の承認について

議案第 1 号 冬期間の休館について

③ 第 3 回評議員会

ア.日 時 平成 25 年 3 月 26 日 午後 1 時～午後 1 時 40 分

イ.場 所 開陽丸青少年センター研修室

ウ.審議事項

議案第 1 号 売店（物販）事業の休止について

議案第 2 号 平成 25 年度事業計画について

議案第 3 号 平成 25 年度収支予算について

事業報告の附属明細書

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

資料 1

1.平成24年度入館者数及び入館料の状況

月	年度	単位						人・%・円		対前年同月比(%)		
		大人	子ども	大人	子ども	計	無料	合計	うち青少年者数		青少年の割合	入館料(円)
4月	24年度	766	83	63	6	918	1,229	2,147	282	13.1	429,750	110.2
	23年度	453	68	88	48	657	20	677	116	17.1	389,870	
5月	24年度	2,149	244	193	10	2,596	59	2,655	282	10.6	1,210,225	82.7
	23年度	1,856	229	233	52	2,370	82	2,452	314	12.8	1,463,950	
6月	24年度	1,078	39	608	375	2,100	83	2,183	443	20.3	895,525	83.7
	23年度	893	43	469	870	2,275	64	2,339	913	39.0	1,069,680	
7月	24年度	1,550	129	371	509	2,559	31	2,590	652	25.2	1,076,550	95.4
	23年度	1,320	126	314	151	1,911	19	1,930	277	14.4	1,128,850	
8月	24年度	2,604	478	316	88	3,486	92	3,578	580	16.2	1,563,150	85.1
	23年度	2,308	465	197	196	3,166	58	3,224	668	20.7	1,837,720	
9月	24年度	1,590	114	354	1,396	3,454	137	3,591	1,524	42.4	1,279,975	90.7
	23年度	1,482	77	444	681	2,684	86	2,770	760	27.4	1,411,130	
10月	24年度	1,014	64	397	211	1,686	7	1,693	275	16.2	739,775	89.2
	23年度	995	37	252	112	1,396	24	1,420	149	10.5	829,770	
11月	24年度	424	20	487	4	935	50	985	60	6.1	433,200	90.5
	23年度	419	18	123	539	1,099	37	1,136	577	50.8	478,800	
12月	24年度	126	5	7	0	138	27	165	19	11.5	66,700	55.0
	23年度	132	9	58	0	199	0	199	9	4.5	121,180	
1月	24年度	0	0	0	0	0	6	6	0	0.0	0	0.0
	23年度	3	0	0	0	3	0	3	0	0.0	2,100	
2月	24年度	5	2	27	0	34	0	34	2	5.9	15,150	541.1
	23年度	4	0	0	0	4	0	4	0	0.0	2,800	
3月	24年度	111	18	19	0	148	0	148	18	12.2	68,300	189.1
	23年度	41	2	22	0	65	0	65	0	0.0	36,120	
合計	24年度	11,417	1,196	2,842	2,599	18,054	1,721	19,775	4,137	20.9	7,778,300	88.7
	23年度	9,906	1,074	2,200	2,649	15,829	390	16,219	3,783	23.3	8,771,970	
	比率(%)	115.3	111.4	129.2	98.1	114.1	441.3	121.9	109.4	89.7	88.7	